

第70号議案 令和元年度長崎市一般会計補正予算(第2号)

(予算書ページ)	(予算科目)	(事業名)	(資料ページ)
42 ~ 43	[6 款 1 項 6 目]	農業費負担金 自然災害防止事業費	… 1~2
42 ~ 43	[6 款 2 項 7 目]	あぐりの丘運営費	… 3~6
42 ~ 43	[6 款 3 項 2 目]	「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業費	… 7

水産農林部

令和元年6月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
42~43	6 農林水産業費	1 農業費	6 県施行事業費負担金	1-1	農業費負担金 自然災害防止事業費	千円 1,600

1 概 要

農業用水の安定確保、ため池災害の防止、海岸背後地の防護及び海岸保全施設災害の防止を図ることを目的とし、既存施設における災害発生を未然に防止するために整備を行い、市民の安全・安心な生活の確保に寄与する。

2 事業内容

平木場地区(中里町)【県営農村地域防災減災事業(ため池整備)】

東長崎地区の平木場ため池については、昭和10年の築造後、83年が経過しており、耐用年数を超過し、底樋呑口は堆砂で埋もれており、維持管理が困難な状態である。

また、目地部の開きや堤体からの漏水も顕著であり、下流域には宅地や農地が存在し、危険な状態であることから、防災力向上を図るための防災減災対策を実施している。

このような中、国の平成31年度予算において臨時・特別の予算措置により、内示を受けたことから、事業進捗を図ることに伴う工事費の増による負担金の増を行うもの。

【平木場ため池の概要】

- ・ ため池諸元 現況：堤高 5.01m 堤長 50.0m 貯水量 1,770 m³
計画：堤高 6.41m 堤長 57.9m 貯水量 1,780 m³
- ・ かんがい面積 水田 2.8ha 畑 0.5ha 合計 3.3ha
- ・ 受益者数 11戸

【事業内容】

- ・ 事業期間 平成29年度～令和元年度
- ・ 全体事業費 96,000千円
- ・ 負担割合 国55.0%：県29.0%：市16.0%
- ・ 整備内容 取水施設工 L=29.2m 洪水吐工 L=30.0m
L型水路工 L=31.9m 法面工 A=311.2 m²
ブロック積工 L=31.9m 管理施設工 L=80.9m

【工事内容】

- ・ 事業費 10,000千円(負担金額 1,600千円)
- ・ 事業期間 令和元年8月～令和2年3月(予定)
- ・ 負担割合 国55.0%：県29.0%：市16.0%
- ・ 整備内容 法面工 A=311 m² 仮設工撤去 n=1式
農地復旧 n=1式

3 財源内訳

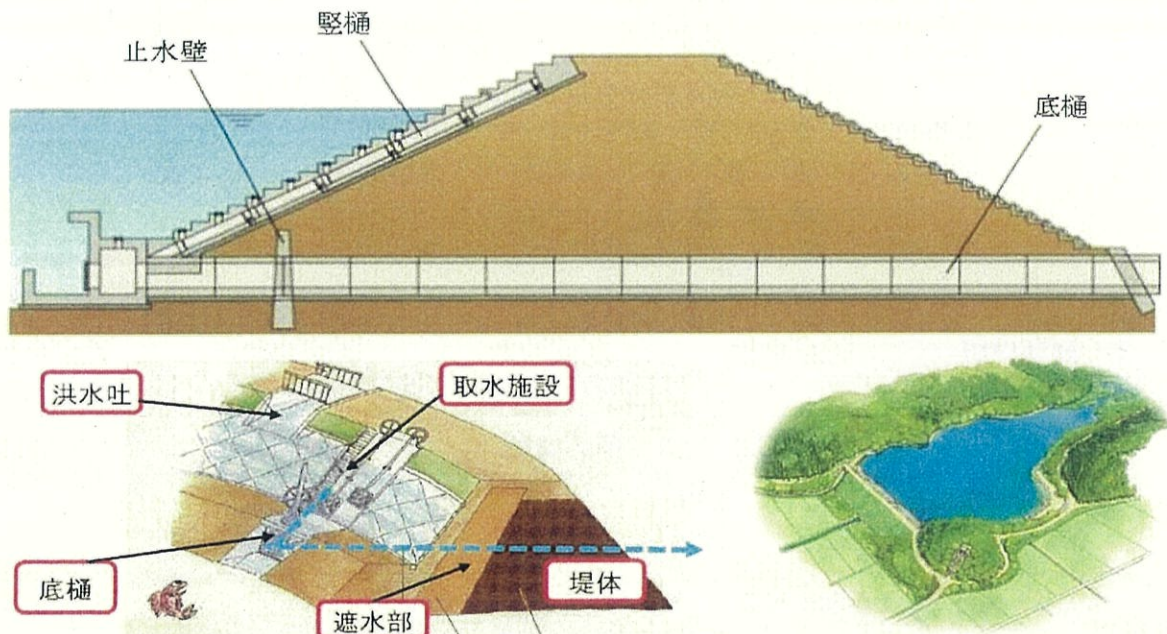
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債(※)	その他	一般財源
千円 1,600	千円 -	千円 -	千円 1,600	千円 -	千円 -

※防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債 充当率100%

4 位置図



5 ため池の構造



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
42～43	6 農林水 産業費	2 林業費	7 いこいの里費	1-1	あぐりの丘運営費	千円 3,883

1 概 要

平成30年6月に発生した大阪北部地震によるブロック塀の倒壊被害を受け、あぐりの丘のブロック塀について、外観調査及び詳細な調査の結果、本施設のブロック塀については、現行の建築基準法に不適合であったため、安全対策として撤去等を行うもの。

2 事業内容

ブロック塀の撤去(8か所) 総延長 53.80m

(内訳)

・街のエリア 7か所、総延長 47.70m

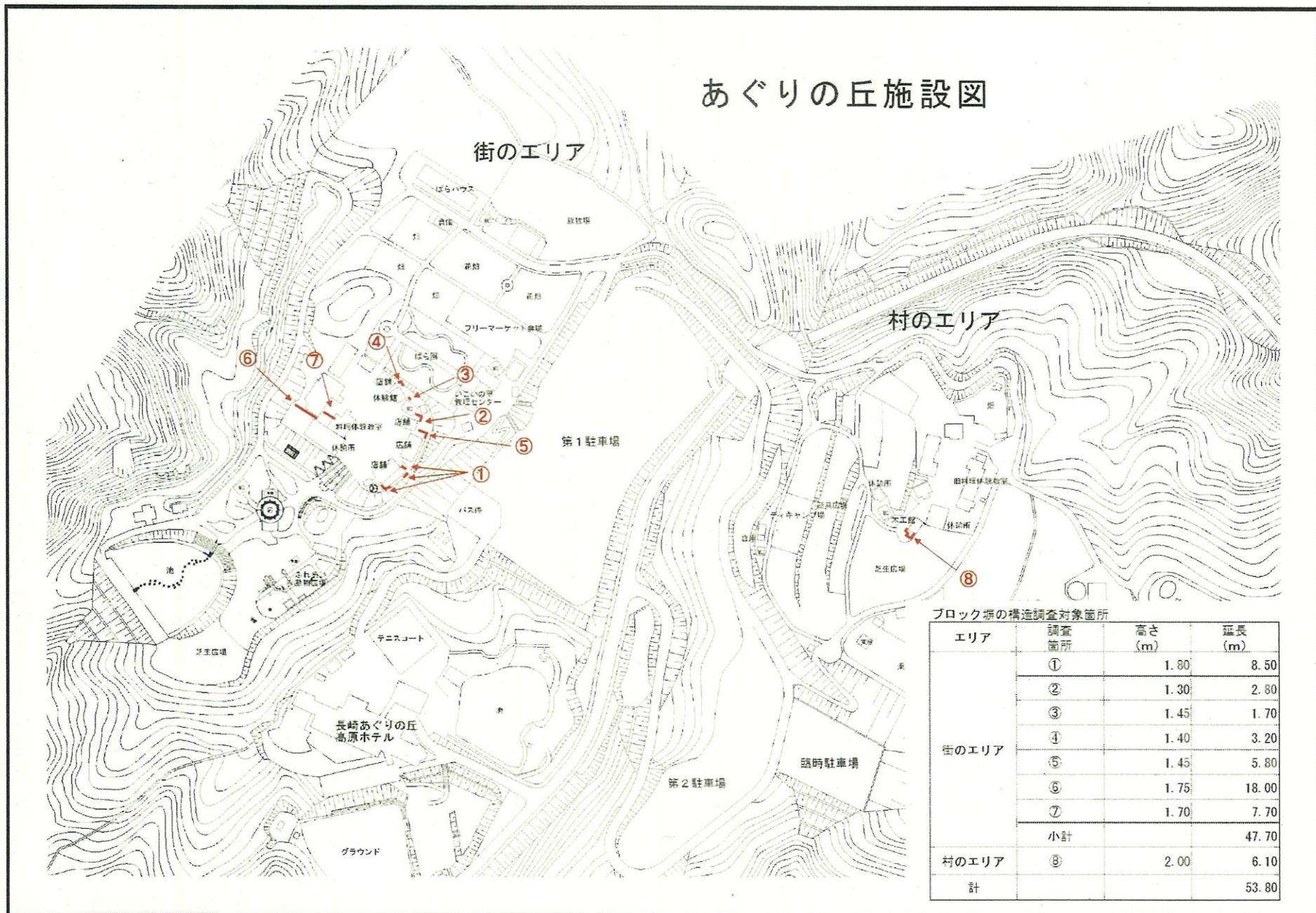
・村のエリア 1か所、総延長 6.10m

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源※
千円	千円	千円	千円	千円	千円
3,883	—	—	—	—	3,883

※ 一般財源について「財政調整基金」を充当する

あぐりの丘施設図



5 現況写真



街のエリア（①店舗）



街のエリア（②トイレと店舗の間）



街のエリア（③体験館Aとトイレの間）



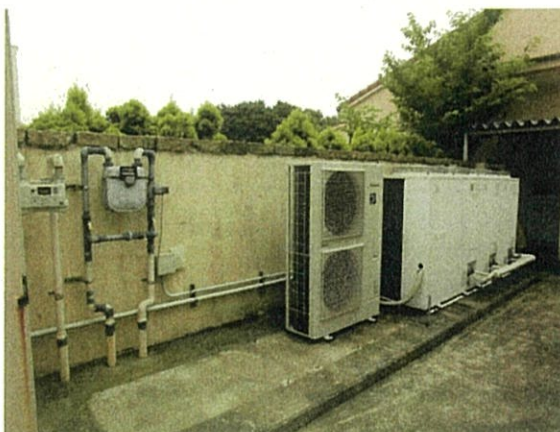
街のエリア（④店舗と体験館Aの間）



街のエリア（⑤店舗）



街のエリア（⑥休憩所）



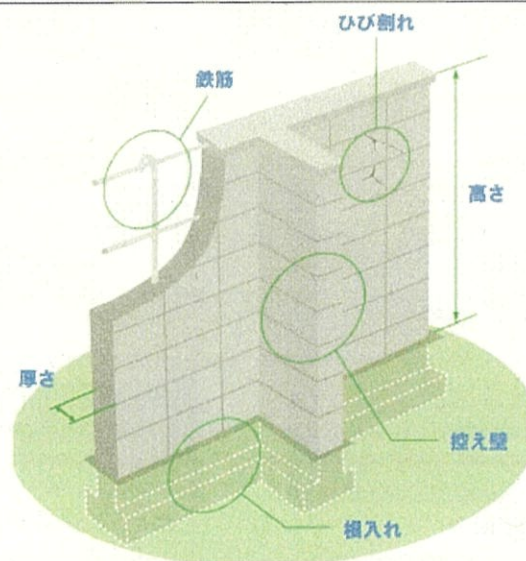
街のエリア（⑦料理体験教室）



村のエリア（⑧木工館）

6 建築基準法の主な基準

項目	基準
塀の高さ	・ブロック塀 2.2m以下 ・レンガ塀 1.2m以下
厚さ	・ブロック塀 15cm以上 (高さ2m以下の塀は、10cm以上) ・レンガ塀 塀の高さの1/10以上
控え壁	・ブロック塀 高さ1.2mを超えるものは、控え壁が必要。控え壁の設置間隔は、3.4m以下ごとに設置。高さの1/5以上の突出が必要 ・レンガ塀 控え壁が必要(塀の厚さが、塀の高さの1/10の1.5倍以上ある場合を除く)。間隔は4m以下ごとに設置。壁の厚さの1.5倍以上の突出が必要
基礎	・ブロック塀 基礎が必要。高さ1.2mを超えるものは、丈が35cm以上の基礎が必要。根入れの深さは30cm以上 ・レンガ塀 基礎が必要。根入れの深さは20cm以上
鉄筋	・ブロック塀 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下での配筋が必要。壁頂及び基礎には横に、壁の端部及び隅角部には縦に同径以上の鉄筋を配置し、鉄筋の端部はかぎ掛けが必要



参考

対応方針

外観調査による点検結果		対応
建築基準法の判定	劣化(傾き、ひび割れなど)	
外観で不適合と判断したブロック塀等	劣化が著しいもの	① 改修又は撤去(実施済)
	劣化が著しくないもの	② 構造調査(実施済)
外観で不適合と判断できないブロック塀等	劣化が著しいもの	③ 改修(実施済)
	劣化が著しくないもの	④ 構造調査(今年度調査予定) ※幼稚園・保育所のみ実施済

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
42～43	6 農林水 産業費	3 水産業費	2 水産業 振興費	1-1	「長崎のおさかな」PR・お もてなし事業費	千円 2,494

1 目的

長崎は全国2位の漁獲高を有し、魚種の多さでは全国1位と言われており、春夏秋冬それぞれに旬の魚がある長崎ならではの「強み」を活かし、増加が予想される観光客等に対し長崎の魚で「食のおもてなし」を実施するとともに、市民が長崎の魚の魅力を再認識できる情報を発信することで消費拡大を図る。また、市民に対し魚食普及を推進することで魚の消費拡大を図ることを目的とする。

2 事業内容

全国有数の産地でありながら食の資源として活用できていないトラフグについて、認知度は高いものの消費に繋がっていない市民や、認知度が低い観光客へのPRを行うとともに、生産者と飲食店等のマッチングの支援を行い、市内における消費拡大を図る。



(主な内容)

- ・トラフグフェアPR 990 千円
- ・広告(旅行雑誌、地元情報誌) 1,114 千円
- ・魚の美味しいまち長崎ホームページ改修 220 千円
- ・生産者と飲食店とのマッチング試食会開催 170 千円

全国のふぐ類収穫量(農林水産省)

(単位:トン)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全国	4,902	4,012	3,491	3,924
うち長崎県	2,678(全国1位)	2,067(全国1位)	1,737(全国1位)	2,111(全国1位)
うち長崎市	647(県内3位)	518(県内2位)	423(県内3位)	628(県内1位)

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 2,494	千円 1,247	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,247

※ 地方創生推進交付金 対象事業費2,494千円×1/2